

広報 | うらやす

浦安市

主な内容

正しい判断で
最善の行動を 2・3面

URAYASU文化クラブの
募集 ほか 8面

発行／浦安市
所在／〒279-8501 千葉県浦安市
猫実一丁目1番1号
編集／企画部広聴広報課
☎047-351-1111(代表)
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

自宅は 身近な避難所

～停電・断水の時も
慌てないために準備しよう～

9月1日は防災の日です。
先月は、千葉県内で記録的な豪雨による被害や、浦安市でも震度5弱を観測した地震が発生するなど、自然の怖さを目の当たりにしたところです。
今後、関東地方では、30年以内に震度6弱以上の大地震が起こると予測されています。また、地震のほかにも台風や大雨による風水害など、災害は突然やってきます。災害時もふだんに近い生活が送れるように日頃から準備しておきましょう。

☎ 危機管理課 ☎712・6897



まちの余白を保つための防災スポーツ公園



浦安市の市域は18.79km²、千葉県で面積が一番小さいまちです。
その狭い市域に約17万2000人が居住しており、人口密度は県内一位となっています。
また、市全域が都市計画区域となっており、



防災スポーツ公園の完成イメージ

開発の最終段階となっている現在、市内には、まちの余白ともいえる大規模な未利用地がほとんどない状況です。

15年前の東日本大震災で、本市は液状化の大きな被害を受けましたが、その際、噴出した土砂は開発が行われていない未利用地に一時的に保管をしていました。

近年、地震発生リスクが高まっているといわれている中、大規模な地震が発生した場合、噴出した土砂や災害廃棄物を集積しておく場所が市内にはない状況です。

こうした中、平成18年に日の出地区に開業した温浴施設が、(株)都市再生機構（UR都市機構）からの定期借地の期間満了により、令和6年に営業を終了することとなりました。

これに伴い、温浴施設の跡地約3haの今後の開発の方向について、市とUR都市機構との

間で協議を進めてきました。

市としては、乱開発を防ぎ良好な住環境を維持していくこと、災害発生時における災害廃棄物の集積場所が不足している現状、市内のスポーツ施設の適正配置、この3つの視点から、この土地を市で22年間の定期借地として借り受けることとしました。

現在、防災的な機能を持ったスポーツ公園としての整備を目指し、計画づくりを進めています。主な導入機能として、人工芝のグラウンド、体育館、多目的広場などが考えられています。

成熟期に入っている浦安では、災害などのいざというときに備えまちの余白を確保していくことが大切であり、今後のまちづくりのキーワードであると考えます。

浦安市長 内田 悦嗣

正しい判断で最善の行動を

在宅避難のメリット

避難とは、「難」を「避」けることであって、「避難所に行く」ことだけではありません。自宅の安全が確保できたら在宅避難を優先しましょう。また、在宅避難の場合でも、避難所で水・食料の支給や情報の提供を受けることができます。

- 1 住み慣れた家で、普段に近い生活ができる
- 2 プライバシーが守られるので、ストレスが低減される
- 3 ペットがいても一緒に生活できる
- 4 感染症のリスクを減らすことができる
- 5 避難所まで移動する危険(崩壊した建物など)を避けられる
- 6 盗難など家を留守にする心配を解消できる

在宅避難が難しい場合の避難先は...

- 地震などの災害時に生活をする場所となる「指定避難所」
- 台風などの風水害時に一時的に避難するための「待避所」

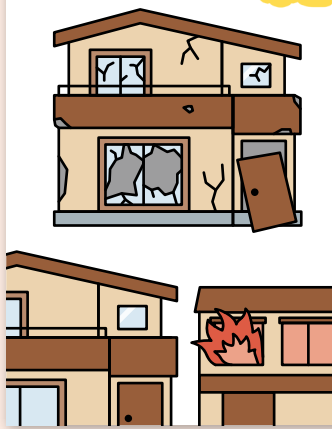
があります。災害の規模や状況により、開設する施設・しない施設がありますので、市ホームページや防災アプリでご確認ください。

地震のとき どうやって避難先を選択するの?

地震発生
(その場で家をたたく)

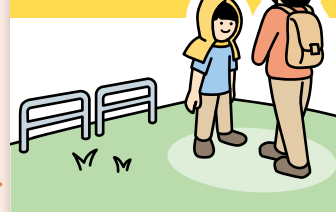
自宅の状況を確認する

自宅が全半壊
火災が近づいているなど



自宅が安全

家族・地域の
集合場所



家族・自治会ごとに避難場所を決めておく
ご近所で安否確認を!

例: 近くの公園、学校の校庭、集合住宅の広場、集会所前 など

自宅ですらせない

親戚・知人宅、ホテル、旅館など

指定避難所(学校など)

※指定避難所の場所など、詳しくは、市ホームページ(右記二次元コード)をご覧ください

1040010

火災などの危険がなくなった
自宅ですらせる

自宅
(在宅避難)



在宅避難をするための準備をしよう!

耐震性の高い家づくり

大地震に備えて耐震診断を行い、耐震性が不足している場合は耐震改修を進めましょう。市では昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅および分譲マンションの耐震診断などに係る費用の一部を助成しています。また、木造住宅を対象に建築士による耐震相談会を無料で実施しているので、ぜひ一度ご相談ください。

問 建築指導課 ☎712・6548

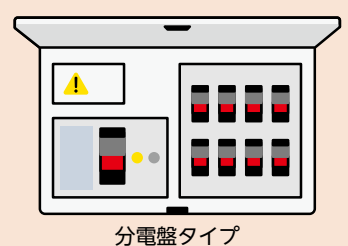
感震ブレーカー

ID 1040944

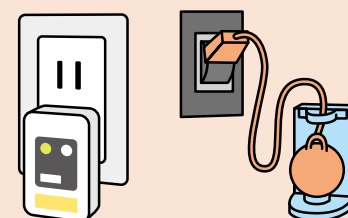
地震などの災害によって一時的に電気の供給が止まる場合があります。その後、電気の供給が再開されたときに発生する火災を「通電火災」といいます。

「電気ストーブ近くに倒れた家具が通電後に熱せられ発火」など、身近な電気機器から発生します。

電源プラグを抜く、ブレーカーを切ることで防止できますが、災害発生時に立ち着いて行動するのは難しいため、感震ブレーカーの設置が便利です。感震ブレーカーは地震の揺れを感知して、自動的に電気の供給を遮断するので、通電火災による被害を未然に防ぐことができます。



分電盤タイプ



コンセントタイプ

簡易タイプ

問 消防本部予防課 ☎304・0143

家具転倒防止対策

近年の地震による負傷者の30~50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因です。また、家具が倒れ、中身が散乱すると、在宅避難に支障を来します。自分の身を守るためにも、その後の家での生活を可能にするためにも家具の転倒防止対策は大切です。

耐震金具・ポール式器具を利用しよう

転倒防止金具

背の高い家具は、L字金具などで固定する。



重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぐ。家具の下部の前方に板を入れ、壁にもたれ気味に置く。

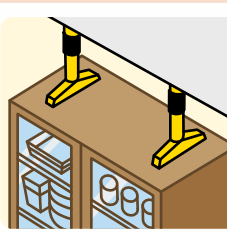


扉・引き出し開放防止金具

食器棚などの扉・引き出しが開き、中のものが落ちてくることを防止する。ガラス部分には飛散防止フィルムを貼っておく。

ポール式器具

壁面へのネジ留めができないときは、天井と家具の間に突っ張り棒タイプの器具を挟み込む。



非常備蓄品

ID 1047538

最低3日分、できれば7日分を備蓄しましょう。

飲料水・食料品

- 飲料水 1人1日当たり3ℓが目安
- 食料品 (レトルトごはん、缶詰、フリーズドライ食品など)

衛生用品

- 携帯トイレ (便袋) 1人1日当たり5回分が目安
- ウェットティッシュ
- からだ拭き
- ごみ袋 □アルコール消毒液
- トイレトーパー、ティッシュ

日用品

- モバイルバッテリー・ポータブル電源
- 懐中電灯・ランタンなどの照明器具、予備の電池
- カセットコンロ、予備のガスボンベ

その他

- 新聞紙
- 常備薬

そのほか、乳児がいる家庭ではオムツ・離乳食・ミルク、ペットがいる家庭ではペットフードやシーツなどが必要になります。各家庭で必要なものを事前に確認し備蓄しておくことが重要です。

また、ランタンや調理器具、寝袋などのキャンプ用品は、災害時のライフラインが途絶えた生活の中で、「防災グッズ」として役立ちます。



正確な情報を見定めよう

■ 防災行政無線

災害が発生したとき、正確に情報を提供できるように、市内の108カ所に防災行政無線の屋外スピーカーを設置しています。地震については、気象庁より震度5弱以上の地震が予測された場合に自動放送されます。

■ 防災アプリ

ID 1044661

いざというときに迅速で適切な行動をとるために、防災アプリをダウンロードしましょう!

- ▶ 防災無線の情報を音声と文字でいつでも、どこでも確認ができる
- ▶ 現在地周辺の避難所やAEDの場所が地図上で確認できる
- ▶ 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語にも対応
- ▶ 防災のてびきや交通・ライフラインなどの情報を確認できる

ダウンロード方法など、詳しくは、市ホームページをご確認ください。



■ 電話・ファクスによる災害時緊急情報配信サービス

緊急情報の入手が困難な方に、ご自宅の電話やファクスに緊急情報を配信します。詳しくは、危機管理課☎712・6899へお問い合わせください。

集合住宅での防災対策

トイレ

設置手順

マンションは給排水設備を共用しているため、配水設備が破損した状態でトイレを流すと別のお宅から汚水が逆流してしまう可能性があります。

給水が復帰しても、配水管が無事か確認できるまでは排せつ物を流さないでください。

食料や水以上に、トイレは衛生環境の悪化や精神的ストレスに直結します。トイレを控えるために、水分や食事を我慢し、体調不良を引き起こしたり、最悪命にかかわる場合もあります。携帯トイレは最低7日分(1人1日5個)用意しておきましょう。

1 便座を上げ、便器全体を覆うようにポリ袋をかぶせる。

2 便座を下ろして、その上からもう一度袋をかぶせる。

3 用を足した後、付属の凝固剤をふりかけてジェル状に固める(凝固剤がない場合は細かくちぎった新聞紙や紙おむつなどでも代用できます)。

4 空気を抜いて口を固く縛り、市指定のごみ袋に入れて、燃やせるごみとして捨てる(詳しくは、災害時に周知します)。



水の確保

多くのマンションは水道管の水をポンプで押し上げ給水しているため、水道自体は止まっていなくても、停電すると建物内で断水してしまいます。停電時、エレベーターが使えなくなってしまうと、水などの重いものを上の階まで運ぶのは大変です。日頃からポリタンクやペットボトルに水を蓄えておきましょう。



大雨時の自主避難

8月13日に発生した線状降水帯による豪雨により、千葉県内で大きな被害が発生しました。今後、短時間に集中的に降る大雨の発生頻度は増加すると予測されています。

大雨が予想されている場合には、雨が強くなる前に、浸水が予想されていない地域の知人宅や親戚宅など、より安全な場所に自主的に避難する「自主避難」が有効です。

また、周囲が浸水し、在宅避難し

ている場合は自宅の高いところへ避難するなど、垂直避難が安全です。

市では、台風や集中豪雨といった風水害時、一時的に身を守る場所として、必要に応じて「待避所」を開設します。開設する場合は、市ホームページや防災アプリなどでお知らせします。

気象情報や避難情報をこまめに確認しつつ、明るいうちの避難を心がけましょう。

知人宅や親戚宅に避難

家の上階へ避難



低い場所での避難は避けましょう